

飯沢耕太郎

いいざわ・こうたろう 写真評論家／きのこ文学研究家。1954年、宮城県生まれ。1984年、筑波大学大学院芸術学研究科博士課程修了。『写真美術館へようこそ』（講談社現代新書、サントリー学芸賞受賞）など著書多数。執筆活動のほか、写真展覧会の審査、企画等も手がける。2007年頃からは『きのこのメッセンジャー』としても本格的に活動を開始。きのこ関係の著書に『きのこ文学大全』（平凡社新書）などがある。



Book Lovers

本好きの本気読み
No.35

『不思議の国のアリス』

ルイス・キャロル 著、河合祥一郎 訳

「きのこ文学」に興味を抱いて、詩、小説、エッセイなどを渉猟し始めてからもう20年余りになる。きのこ好きの人には受けがいいのだが、そうでないとい「？」という顔をされることも多い。そんな時によく「きのこ文学」の例として挙げるのが、ルイス・キャロルの『不思議の国のアリス』である。

有名な本なのだが、その第5章「青虫が教えてくれたこと」に、きのこが登場することを覚えている人はあまりいないかもしれない。物語の途中で、食べたり飲んだりして変身を繰り返すアリスは、3インチ（7.8センチ）くらいの背の高さになっている。元に戻ろうと何か食べ物を探していると、きのこが生えていて、その傘の上には水煙管をふかす青虫が。珍問答の末に、青虫は「いっぽうの側は背が高くなる、反対側は背が低くなる」と謎めいた言葉を残して去る。アリスがきのこの傘の片側をかじると、いきなり背が縮み、慌てて反対側をかじると今度は首が蛇のように長く伸びる。交互にかじって、ようやく元の背の高さに戻ることができた。

この話は、きのこの持つ不思議な力（魔術性）をよく示しているのではないだろうか。キャロル研究者の何人かが指摘しているのは、彼は幻覚性きのこの効果について書かれた本を読んでいたのではないかということだ。たとえば、モーデカイ・キュービット・クックの『眠りの七人姉妹』（1860年）という本には、シベリアのシャーマンが儀式で使っていたベニテングタケの記述がある。このきのこを摂取すると、空間感覚が変容して、物が大きくなったり小さくなったりするように感じるのだ。その真偽は別にして、『不思議の国のアリス』を『きのこの国のアリス』と読み替えることも可能だろう。

『不思議の国のアリス』（ルイス・キャロル 著、河合祥一郎 訳／角川文庫）

Contents

発行：高島屋ファイナンシャル・パートナーズ株式会社
編集・制作：株式会社エー・ディ・エー
編集長：小林準二
編集：渡辺聖、菅原浩一
アートディレクション・デザイン：飯森耕介
デザイン：濱口明大
編集協力：国府田直子（朝日新聞出版）
吉田葉子、土橋育子
表紙・目次撮影：小林千鶴
広告・広告進行：加藤浩、中島ひと美

／特集／

飯沢耕太郎「本好きの本気読み」

Book Lovers

Takashimaya Salon — Features

五感を癒して、すこやかに生きる

Spring Fashion

お洒落の季節が到来 春の新作コレクション

EDITOR'S CHOICE

春揺らぎに備える、エイジングケア

TAKASHIMAYA ARCHIVES

高島屋史料館

Artist Clip

美術家 上出恵悟

Shop Information

高島屋各店情報

Card Guide

タカシマヤサロンカードガイド

トラベル・ホテル・グルメ・

チケット・サービス

1

2

18

22

24

26

29

32



Takashimaya Salon Magazine for Takashimaya's Special Card Members

March 2021



●掲載商品のお取り扱いには以下の表示でご案内しております。日本橋=日本橋店／新宿=新宿店／玉川=玉川店／立川=立川店／横浜=横浜店／大宮=大宮店／柏=柏店／高崎=高崎店／大阪=大阪店／堺=堺店／泉北=泉北店／京都=京都店／洛西=洛西店／岐阜=岐阜店／岡山=岡山店／名古屋=ジェイアール名古屋タカシマヤ／いよてつ=いよてつ高島屋（松山）／JU米子=JU米子高島屋／フード新横=タカシマヤフードメゾン新横浜店／フードおおたか=タカシマヤフードメゾンおおたかの森店／フード岡山=タカシマヤフードメゾン岡山店（2月28日（日）営業終了予定）

※価格は消費税を含む総額にて表示しております。※商品のご利用方法により税率が変更となる場合がございます。※掲載商品の価格・内容は2021年1月26日（火）現在のものです。※品数に限りがございますので、売切れの節はご容赦ください。※諸事情により、販売開始が遅れたり、販売を中止する場合もございます。また、お取り寄せとなる商品もございます。あらかじめご了承ください。※価格表示のない小物等はコーディネート用です。

本誌掲載の写真・記事の無断転載および複写を禁じます。

●本誌に掲載している、催し・イベント等が変更・中止になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
●都合により店舗の営業が中止になる場合がございます。各店の営業状況については各店ホームページをご確認ください。

掲載内容のお問い合わせ 0120-433-328〈通話無料〉承り時間10時～18時

タカシマヤサロン本誌編集内容についてのご意見、ご感想は編集室までお寄せください。※いただいた個人情報は、編集の参考目的以外では使用いたしません。
〒103-0027 東京都中央区日本橋2-12-10高島屋グループ本社ビル 株式会社エー・ディ・エー タカシマヤサロン編集室

WEB マークのついた商品は
高島屋オンラインストアでも
お買い求めいただけます。

高島屋オンラインストア 検索